

2020年4月28日

株 式 会 社 イ ク ヨ
代表取締役社長 神尾裕司

「取締役会の実効性に関する評価結果の概要」について

当社は、取締役会の実効性を高め企業価値を向上させることを目的として、取締役会の実効性に関する評価を行いましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

1. 評価の方法について

取締役会の実効性を評価するため、取締役会を代表して取締役社長が社外役員に

取締役会の運営内容や有効性等の意見を聞き評価を行いました。

それをもとに、取締役会において評価結果及び課題の共有を行いました。

2. 取締役会の実効性に関する評価結果の概要

1) 期ごとに意見・提言及び確認内容等の報告及び発言が増加しており、課題についての

深堀が進んでいることが確認されました。

2) ガバナンスの基礎となる取締役会の規模・構成(社内取締役4名・社外取締役1名)については

社外取締役の増員を目標としていましたが現在のところ達成できておりません。

引続き社外取締役の早期の1名増員が求められるとの提言が得られました。

3) 経営戦略・経営課題、特に大型の投資計画についての議論をより深めていく必要があるとの提言

また、役会付議承認としない稟申承認の社長決裁増額検討提案も得られました。

4) 役員報酬において、固定報酬のみであったものから、81期より業績連動報酬実施に移行したことは

評価できるとの提言も得られました。

3. 今後の対応

1) 顧客別の課題や工場別の課題の解決に向けた議論と、取締役会での情報共有がしっかり行える

環境を作っていきたいと考えています。

2) 中期的な戦略に立った、企業成長に資する方策の検討を積極的に議論することが重要であると

考えています。

3) 社外取締役の増員は喫緊の課題と捉え、引き続き増員に向けた必要な対策を講じてまいります。

この評価結果を踏まえ、引き続き取締役会が中期的な視点での議論を重点において、取締役会の実効性のさらなる向上を図っていくことが当社の継続的な発展に寄与するものと考えております。

以上